

[ここに入力]

# カメルーン通信



No.5 2018年度1次隊 小学校教育 とびたりか 飛田梨圭

## ●アフリカでの生活

突然ですが質問です。みなさんはアフリカというとどんなイメージをもちますか？

行ったことのない人にしてみたらテレビやネットの中だけでは存在しない自分とは関係のないところだと思っている人が多いのではないですか？確かにその通りかもしれません。

日本人観光客に人気の北アフリカに位置するエジプトやモロッコでさえも飛行機で半日以上かかります。ましてや中部アフリカに位置するカメルーンは飛行機の乗り継ぎの関係で1日近くかかる場所にあります。日本ではすでに感染することがない狂犬病のリスクもあり、最近では隣国のコンゴ民主共和国でエボラ出血熱の感染者が出たことがニュースにもなりました。このことだけ聞くと恐ろしい場所のように感じるかもしれません。ですが、住めば都とはよく言ったものです。街を歩けば近所の人々が“comment tu va? (訳:元気?)”と気軽にあいさつをしてくれたり、仲良くなった人の家に遊びに行くにご飯をご馳走してくれたりします。上の写真はご近所さんと一緒に晩御飯の準備をしているときのものです。料理用に使うヤシの実に似た木の实をアフリカ版の杵と臼で叩いています。約束もなく遊びに行っにご飯を知人の家で食べるなんて日本では遠慮してしまいますよね。大らかな人柄からか案外気安くご飯が出てきます(笑)。食べるために遊びに行っているわけではないのですが、それがカメルーン流のおもてなしだそうです。ここでは昭和の日本のような人間関係が今もなお存在しています。



## カメルーンあるある

カメルーンの人々は大人も子どもも写真が大好き。写真を撮るのも撮られるもの両方とも！カメラを向けると各々好きなポーズをして“撮って！”と凄まじいアピール！ハングリー精神を見せつけられます。カメラを向けて“恥ずかしいから撮らないで！”と言われたことが今のところありません。これもお国柄かもしれませんね(笑)